



**6年間ありがとうございました！**

**白藤プロジェクト無事に活動を終了！**

**4月からは参加者の間口を広げフラッシュアップしたプロジェクトをスタート**



6年間白藤の仕込みを教えて頂いた藤田杜氏に感謝。定員10名の所40名で押し掛けました。



雪が溶けた蒲原平野から一転して、3m以上の積雪の魚沼市へ。市長・母親として活躍する大平市長の話は、これから社会人になる学生へのエールとなりました。

**○ 初日は春の陽気、2日目は猛吹雪の雪国の自然の厳しさを体験 ○**

学生29名（インフルエンザで欠席3名）、OG5名、上鷲宮小学校の先生4名と過去最多の参加者。特に1年生の参加が多く、6年前の初の田植えからは考えられない状況です。

初日は、三条市の相田合同工場で鍬の製造現場を見学しました。人文地理学の講義さながらの相田社長の話に参加者は興味津々。全国に1万種類以上の鍬があり、土地・作物・地域によって異なる鍬があることに驚きで、且つ、修理して使うものであることに驚き。

2日目の酒仕込みでは、藤田杜氏はあまりの参加者の多さに四苦八苦しながら酒造りの指導。大荒れの吹雪模様の天気、酒蔵はピンとした冷気に包まれ震えながら体験をしました。

午後には、吹雪で視界不良の関越道を走り、魚沼市に会場を移しめし徳のおこわ弁当を味わい、そして、大平悦子市長から「子宮頸がんワクチンと美味しい病院食で街づくり」とのテーマで講演をして頂きました。5人の子育てをしながら、働く女性として貴重なお話を伺えました。

4月からはNPOプロジェクト88が主催して、魚沼市の棚田の耕作放棄地の再開墾を開始します。手探りの活動になりますが、ぜひ皆様のご参加・ご支援をお願い致します。



壁一面に飾られた全国の鍬が飾られたギャラリーで、相田社長から講義を受ける。



麹室は室温が高く汗だく。蒸し米に麹菌を加える。手がツルツルになるのに驚く！



市長は学生からの質問に丁寧に答える。女性視点を活かす重要性を学びました。

【 問い合わせ先：(有)エコ・ライス新潟 豊永有(トヨガユ) 】

TEL：0258-66-0446 当日 090-6458-5535

HP <http://www.eco-rice.jp/> e-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)